

学生から社会人までの

農業インターンシップ

— 2013年度募集 —



きっと見つかる あなたの農業

全国新規就農相談センター

農業インターンシップとは



農業インターンシップは、学生・社会人の皆さんが農業法人等で就業体験する制度です。全国農業会議所では、平成11年度から農林水産省の補助を受けて、農業インターンシップを実施しています。その目的は大きく2つあります。

1つ目は就職先として農業という業界を知ってもらうこと、2つ目は私たちが日頃食べている食料とその生産について関心を持ってもらうことです。短い期間といえども農業を体験することは、農業という業界で働くこと、日本の食料・農業事情について実態を知る貴重な体験になります。

また、すでに農業法人等の就業先が決まっている就業希望者や雇い入れを決めた農業法人等に対しても、事前に就業体験することを勧めています。

農業体験コース

農業の経験がない方を対象に就業体験の実施をお勧めしています。農業体験コースでは、全国の農業法人等(約200社)で就業体験を行います。自分の農業適性や知識、経験、技術レベルを確認することができます。

採用予定者の就業前体験コース

就業しようとする農業法人等が決まっている方を対象に、実際の就業前に事前体験の実施をお勧めしています。就業前の事前体験では、就業希望者と雇い入れる農業法人が農業適性や知識、経験、技術レベルを確認する事ができ、安心して就業することにつながります。

〈募集要件〉

- 農業に関心のある方
- 健康体で農作業ができる体力があること
- 受け入れ法人等の規則に基づきルールを守れる方
- 学生(高校生以上) および社会人

〈実施要領〉

- 【体験期間】 1週間から6週間以内です。
- 【費用】 参加費用は無料です。ただし、受け入れ先までの交通費は自己負担となります。
- 【食費・宿泊費】 受け入れ先が負担します。
- 【その他】 原則として経営者宅・社宅等に住み込みとします。ただし、可能な場合は通勤もできます。体験期間中は、傷害保険(農業実習総合保険)に加入していただきますが、保険料の負担や手続き処理などは全国農業会議所が行います。

体験の心構えとして

農業体験は農業法人のご厚意の上に成り立っていることを心に留めてください。宿泊費・食費を負担してでも受け入れようというのは、これからの日本を担う若者に、農業をもっと知ってもらいたいという意識からです。そこをしっかりと踏まえ、積極的に動き、発言し、精一杯吸収してください。それが受け入れる側の望みでもあります。

農業法人とは？

農業法人とは、株式会社や農事組合法人など法人形態によって農業を営む法人の総称です。全国で13,700法人あり、その数は毎年増加しています。

多くの農業法人では、家族が中心となって構成されており、経営規模は小さいものの、一般企業と同様に企画、販売、営業などの仕事もあります。また、販路の拡大や経営・生産の工夫により加工や観光、レストラン経営など、多角化している農業法人もあります。最近では競争力を持ち、海外に生産物を輸出している農業法人、海外農場進出計画を進めている農業法人もあります。

農業インターンシップの体験内容



体験内容は、受け入れ法人等の経営作目により異なります。また、同じ法人等でも参加する時期により体験内容は異なります。1日の作業は繁忙期や農業法人等の就業規則にもよりますが、8時間から12時間です。作業は農作業だけではなく、多岐に渡っています。

経営作目ごとの具体的作業の内容の例 ※1か所・1回の体験で全て行われるわけではありません。

稲作	わらまき・肥料まき・水管理・稲刈り・乾燥調製・精米・配達
野菜	種まき・育苗・定植・ホルモン処理・箱づくり・収穫・包装・出荷・トンネル張り・マルチ張り・ハウスの建設
果樹	袋取り・収穫・箱詰め・(観光農園の)接客・ビニール被覆
花き	土入れ・種まき・移植・芽かき・挿し木・芽接ぎ・ハウス管理・除草剤散布・市場での仕入れ・出荷・配達
きのこ	菌接種・温室管理
酪農	搾乳・飼料調製・給餌・哺乳・分娩立ち会い・除糞・ブラッシング
肉用牛	給餌・去勢・治療・体重測定・出荷・子牛の導入・除糞
養豚	分娩舎での子豚管理・分娩処理・除糞・出荷
採卵鶏	清掃・集卵・軟卵の除去・死鶏の除去・除糞・鶏卵パック詰め・サルモネラ検査

農作業以外の体験内容

社会生活のマナー、レストランの手伝い、直売所の手伝い、試験場・選果場・近隣農家の見学、台風対策とその片付け、ビニールハウスの解体組立など

体験生の1日例

経営作目	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時
野菜			トマト・キュウリの収穫		出荷調整・箱詰め			休憩	出荷・配達		芽かき・誘引		片付け等		
果樹		病虫防除			房作り・摘粒			休憩		かさ・袋かけ					
酪農		給餌	搾乳		清掃等			休憩	子牛の世話	給餌	搾乳		清掃		
肉用牛			清掃	給餌	管理作業			休憩	管理作業	給餌					
採卵鶏					給餌	集卵	清掃	休憩	洗卵・選別		清掃	集卵			

2012年度 農業インターンシップ実施の概要について

体験者について

体験実施者数：907名（学生：481名、社会人：426名）

- 一般の農業体験コース：861名（学生471名、社会人390名）
- 採用予定者の就業前体験コース：33名（学生10名、社会人23名）
- 週末体験コース：13名（社会人）

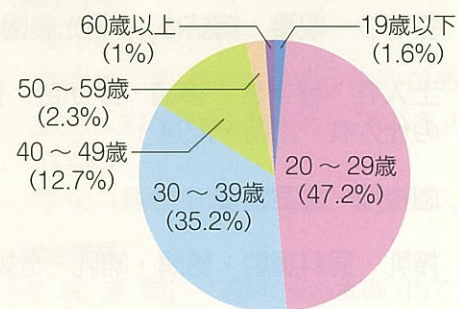
学生の内訳

	男	女	計
高校生	57名	16名	73名
高等専門学校生	16名	7名	23名
専門学校生	24名	6名	30名
農業大学校生	10名	11名	21名
短大生	4名	7名	11名
大学生	144名	165名	309名
大学院生	11名	3名	14名
総計	215名	266名	481名

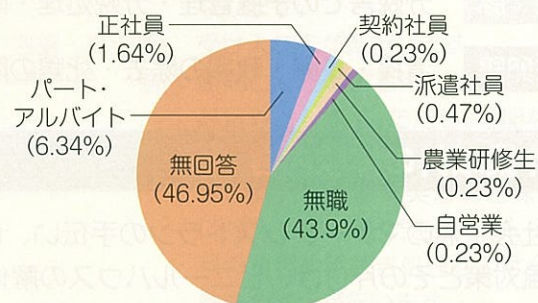
社会人の内訳

	男	女	計
社会人	342名	84名	426名

社会人の年齢



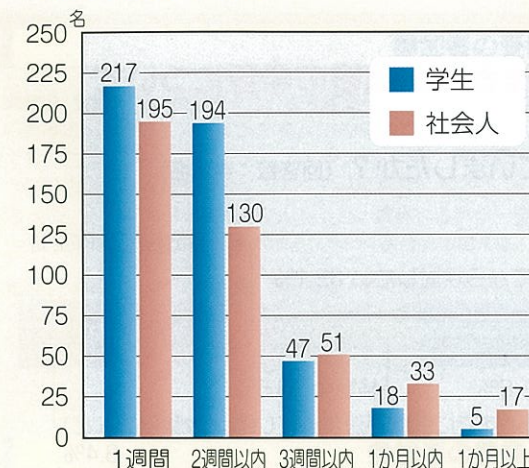
社会人の就業形態



学生体験者の専攻・単位取得との関係

	単位有	単位無	計
農学系学生	85名	140名	225名
農学系以外学生	49名	207名	256名
総計	134名	347名	481名

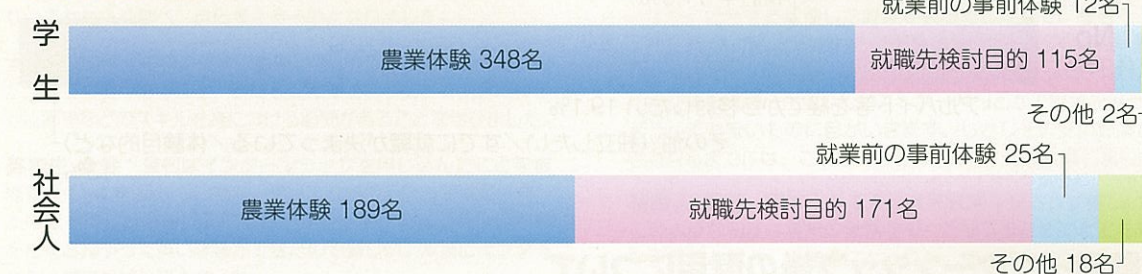
実施期間別人数



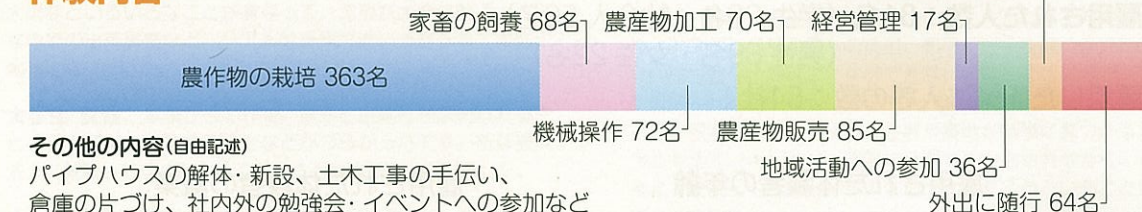
体験先(ブロック別)人数

北海道・東北	48名
関東	294名
東海	86名
北信越	72名
近畿	156名
中国	71名
四国	33名
九州・沖縄	147名

目的別参加数

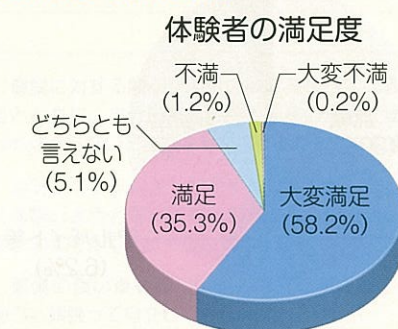


体験内容

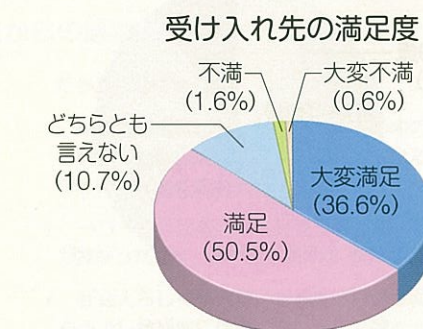


その他の内容(自由記述)
パイプハウスの解体・新設、土木工事の手伝い、倉庫の片づけ、社内外の勉強会・イベントへの参加など

実施後の満足度



- 満足の理由**
- ・ほとんどの作業と一緒にすることができ、たくさんのお話を聞くことができたため
 - ・農作業の大変さや厳しさは思ったとおりでしたが、それ以上に面白さを感じることができた
- 不満の理由**
- ・体験初日の説明が少なく、全体的な流れがつかみづらかった
 - ・お客様扱いせず最初から厳しく指導して欲しかった



- 満足の理由**
- ・非常にまじめで積極的であり、当社の従業員にとっても良い刺激となってくれた
 - ・短い期間でしたが、スタッフや家族ともコミュニケーションをよくとってくれました
- 不満の理由**
- ・初期は積極的に関わってくれたが、途中で飽きてしまったのか失速してしまい、残念だった
 - ・目標がはっきりせず、指導が難しかった。

体験期間や内容などについて

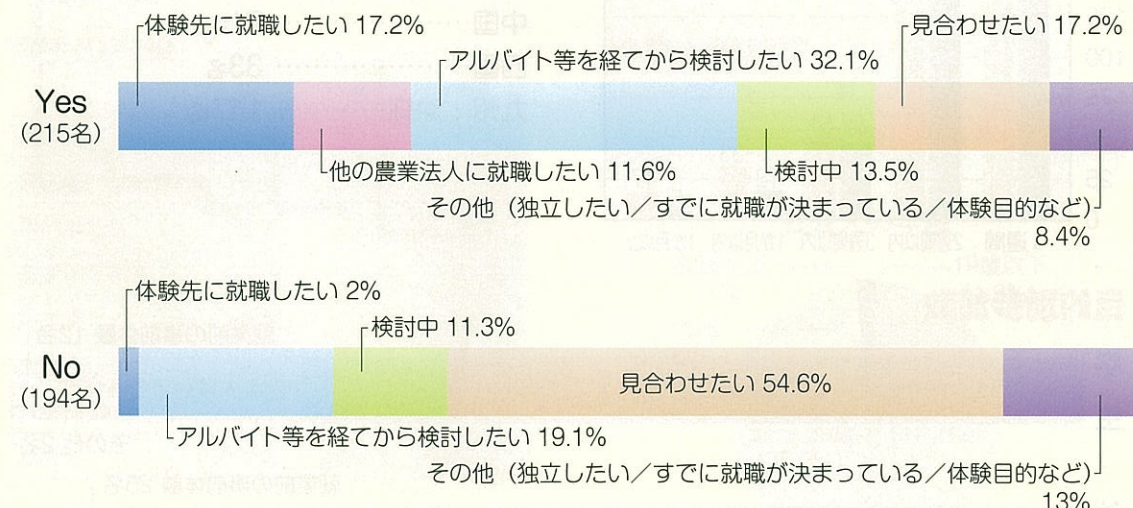
申し込んだきっかけ(複数回答)



就職について

農業法人を就職先として検討していた参加者の体験後の希望について

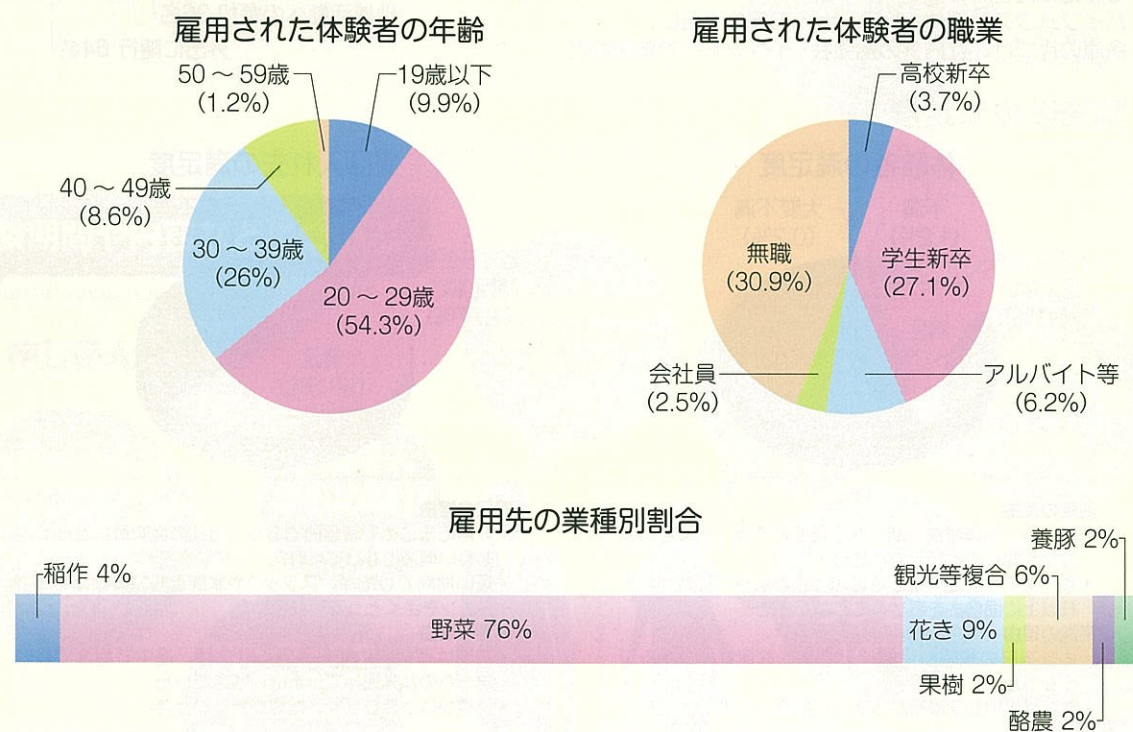
体験前から農業法人を就職先として視野に入れていましたか？ (回答数：409名)



農業インターンシップ後の雇用について

雇用された人数：81名 (学生 25名・社会人 56名)
(男性 59名・女性 22名)

雇用した農業法人等の数：54社



農業インターンシップの感想

参加者の受け入れ先に対する感想

大学生 女性 畑の面積が大きく従業員数も多いため、個人経営の農家さんと違って人員配置や種まきの時期、収穫時期等、考えなければならないことがたくさんあった。また、大規模になればなるほど計画性や情報システム化が重要度を占めていくと思った。日本農業の大規模化にともない、農業は自然の一部から外れ効率的労働による工場化がされていくようにも思える。

社会人 男性 イチゴや野菜、米の栽培、観光農園、ジャム加工など、業務が多岐にわたっており、他企業との海外での共同事業や研修生を積極的に受け入れられているなど、幅広く事業を拡大されている。そして、地元とのつながりを非常に大切にされていると感じた。

社会人 男性 ・良かった点：農業が好きならばモチベーションが高い。知識も豊富で1つの質問に対して、2つも3つも答えが返ってくるなど勉強になることが多かった。
・悪かった点：各ほ場が離れているので、生産性が悪い気がした。また規模に対して、労働者の数が少ないと思う。ほ場の管理をしきれていない。

社会人 女性 器具の使い方や作業方法については教えて頂けるので困りませんでしたが、最初はとにかく目の前のことだけに追われて「なぜそうするのか」等を考えながら作業するようになったのは研修も終わりのころでした。疑問はほとんど聞いて、早く作業を覚えたほうが得るものも大きいと思います。

参加者の農業インターンシップの感想

大学生 男性 人生の転機になるような良い体験ができました。また、日本農業の現状や働く人の考えなど直接しないと分からないことも多く学べ、自ら考える一助となりました。

大学生 女性 規模の大きい農業では、1つの作業に時間と労力が必要であること、また6次産業ということで生産だけでなく販売などのスキルを身につける必要があることを学びました。

高校生 女性 最初はインターンシップを申し込んだことを後悔するくらい緊張していたが、受け入れ先の方たちが皆優しくしたのですぐに打ち解けることができた。学校ではやらない作業をたくさんやって良い体験ができたので嬉しい。本当にインターンシップに参加してよかった。

大学生 女性 私が行ったときは異常気象、交通の事故、台風、大雨などいろいろなことが重なって、出荷が大変な時で、そんな中での出荷調整など、リアルな農家の戦いが見られて本当に勉強になりました。

大学生 女性 早朝からの作業、速さと正確さが求められること、テキパキと行動することなどがつらかったです。私は農業法人に就職してずっとやっていくことは難しいと思いました。

大学生 男性 農業インターンシップを行ってみて、農業を仕事

にすることをしんどさを感じました。朝早く起きてそのまますぐ野菜の収穫をしたり、暑い中でビニールハウスの中で作業をしたり、ひたすら収穫した野菜を袋詰めしたりで、毎日へとへとでした。しかしこんななかでも農作物の単価は安いので、なかなか儲けを出すのは難しいというのは少し問題だと感じました。ただ今まで普通に生活して、スーパーとかで野菜を買う時、どうしても安いものに目がいきます。しかしその安い野菜が提供されるまでには、こんなにも苦勞があるのだと感じました。

社会人 男性 農家以外で農作業を経験することが難しい今、このような制度は農業の実態を知ってもらうためにとても有効な手段だと思う。経営者にとっても、様々な人を受け入れることで、従業員を雇う際に必要な人材のイメージがつかやすくなり、雇用拡大に貢献できるのではないかと。

社会人 男性 真夏のトマト栽培のビニールハウスの蒸し暑さや、アスパラ収穫の腰への負担、朝早くから夜遅くまでの長時間内体労働等の普段では体験できない経験をできたので、実際に就農した際に体力的に問題ないかの判断が予測できました。また田舎では都会と違い、住居や農地が簡単に見つかるだろうと考えていましたが、実際には運等に左右されやすく、甘い考えで就農しても厳しい現実がぶつかるといえることが実感できました。

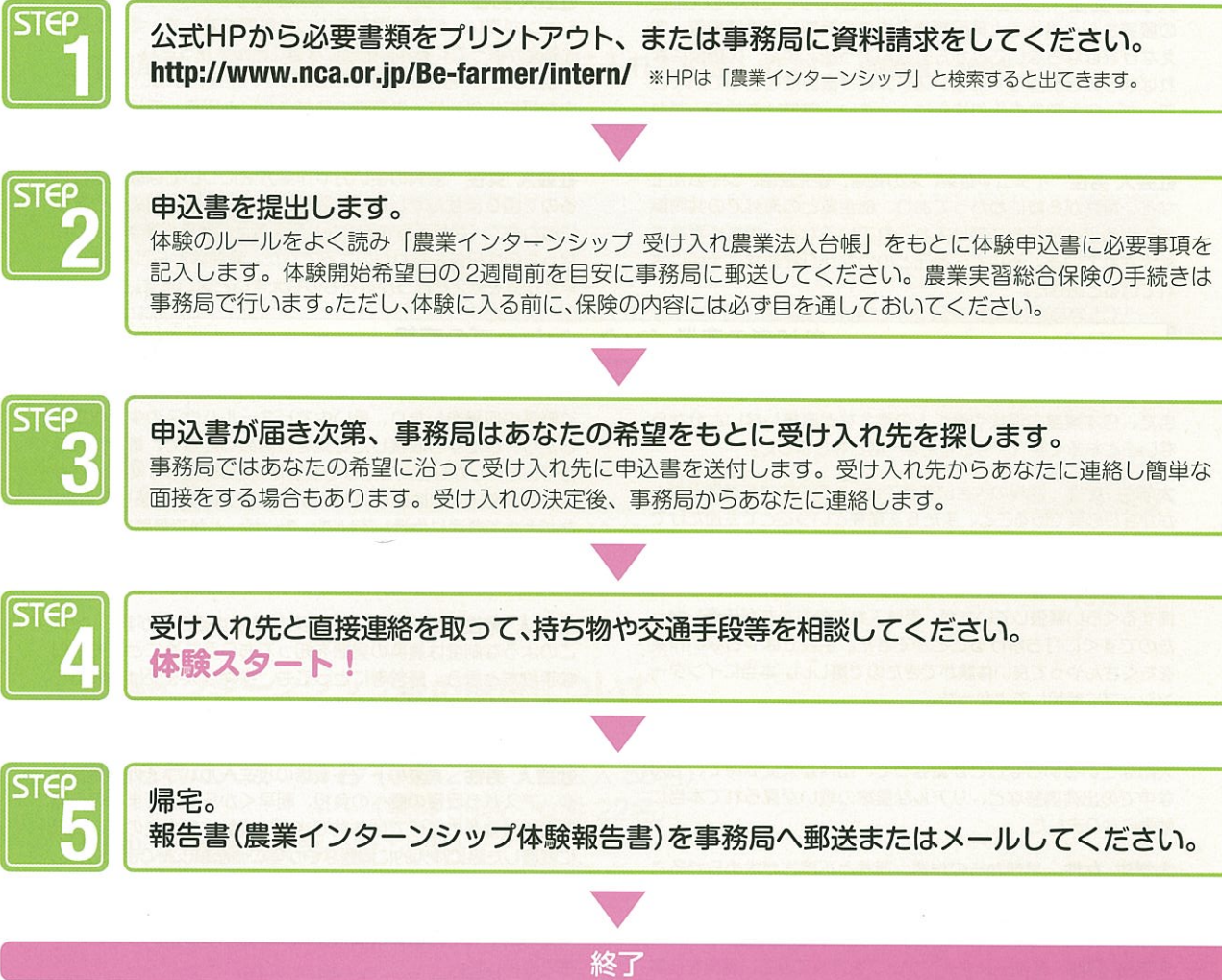
受け入れ先からの感想

- ・ 農業に対する関心が若者の間で高まっていることを実感するとともに、自分自身も農業の発展のために頑張っていかなければならないと決意を新たにす契機となりました。
- ・ コミュニケーションが苦手な人だと思いましたが、せっかく体験しようと思って来たのだから、自分自身が何をしたいのかよく考えてアピールしてほしい。
- ・ 農業の良い点も難しい点も率直に伝えることができたと思う。頑張っ自立してもらいたい。
- ・ 疑問に思ったことはどんどん質問してきて、何でも学ぼうという姿勢には好感が持てた。こちらの若手社員の良い刺激になったと思う。
- ・ 最近農業に目を向ける方が多くなったと実感しています。以前にインターンシップに来た方の中には、認定農業者となり定住した人もいます。高齢化の中で地方を支える一つの方法となると考えています。
- ・ 短い期間なので少しずつ様々な作業を体験してもらいましたが、農業の大変さのみで楽しさに至るまでの時間がながかつ

- たかもしれません。
- ・ 生産の現場を体験したことで本人の中の農業の位置づけを再確認し、就職活動に役立てられる、また本人が農業が好きだという再確認ができたことは素晴らしい。
- ・ 一つ一つの仕事のやり方を丁寧に聞いて、実践している姿が良かったです。農や食に対する、真剣な姿勢が印象的でした。
- ・ 社会人らしく落ち着いた態度で体験されていました。ただもう少し積極的に仕事にも、人にも関わってみたい良かったかなと感じています。食料としての野菜にもっと興味を持ってほしいと思います。
- ・ 文系の学生で就農を目指しているわけではないが、農業のファン、農や食のことを一緒に考える仲間を増やすという意味でもとても有意義でした。
- ・ 農業に対しての思いが体験することで、良くも悪くも変わったと思います。自ら農業をやりたいという時に現場で動いて頑張ったことがこれからの良い経験につながると思います。

まずは体験から！ 農業インターンシップ体験の流れ

■ 農業体験コース



■ 採用予定者の就業前体験コース

詳しくは HP をご覧いただくか下記までお問い合わせください。

運営

全国農業会議所 全国新規就農相談センター

〒102-0084 東京都千代田区二番町9-8 中央労働基準協会ビル2F
TEL.03-6910-1126 FAX.03-3261-5131 E-mail : guide@nca.or.jp

お問合せ・資料請求・お申し込み

公益社団法人 日本農業法人協会

〒102-0084 東京都千代田区二番町9-8 中央労働基準協会ビル1F
TEL.03-6268-9500 FAX.03-3237-6811 E-mail : intern@hojin.or.jp

農業インターンシップ

検索



<http://www.nca.or.jp/Be-farmer/intern/>